

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 11月5日

【評価実施概要】

事業所番号	4270600481		
法人名	社会福祉法人 秀峯会		
事業所名	グループホーム みどりが丘		
所在地	〒855-0033 長崎県五島市木場町570-4 (電話) 0959-74-6620		
評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目7217島原商工会議所1階		
訪問調査日	平成19年10月29日	評価確定日	平成19年12月25日

【情報提供票より】(H19年9月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 14年 10月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	7人, 非常勤 1人, 常勤換算 7.25人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り		
	2階建ての1部及び3階建ての 階 ~ 2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	7,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	180 円	昼食 300 円
	夕食	300 円	おやつ 円
	または1日当たり 780 円		

(4) 利用者の概要(9月 1日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	0名	要介護2	2名		
要介護3	4名	要介護4	3名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 85.2歳	最低	76歳	最高	92歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	みどりが丘クリニック 山田歯科医院 五島中央病院		
---------	--------------------------	--	--

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

病院の2階にある当ホームは、周辺には学校やお店があり、子供達の登下校の風景が楽しめる。道路側に面した病院とは逆の位置にホームの入り口があり、車に対しての不安は少ない。また1階が協力医療機関のため、状態変化の際には、自信をもって対応できる。ホームの内部は病室を改造しているが、居室に入ると入居者の「部屋」になっており、安心して過ごせるように作られている。入浴に関しても毎日支援され、清潔面でも積極的に取り組まれている。また管理者をはじめ全職員は接遇や介護技術に対しての意識を高く持ち、向上心に満ち溢れている。リビングや畳の間、また至る所にベンチなどがあり、それぞれの方が生き活きと和やかに皆で過ごせるホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価の改善に対して、改善計画シートを作成され、取り組まれている。主な改善課題として入居者の家族に対して宿泊の準備等であった。取り組みとして寝具を揃えたり、長時間ご家族と過ごせるように雰囲気を作る工夫をされている。現在、宿泊の希望はまだないようだが、ご家族が馴染みのマットを持ち込んで入居者と一緒にゆっくり過ごされる等、改善に向けた取り組みが徐々に浸透しているようである。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は全職員で取り組まれている。全職員が個々に記入することで課題と目標を見出され、現在取り組んでいる事の大切さと、自身が取り組む姿勢に対して自信を持たれている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	2ヶ月に1度のペースで運営推進会議が行われている。市町村担当者や職員、民生員や入居者の家族が参加され、意見交換がされている。運営推進会議の議題はホームの活動計画やOJT研修計画、会議の議題内容や助言など積極的に話し合いが行われている。議題を活かした内容としてはボランティアの活動の場としての提供の呼びかけがあり、地域の祭りなどでの活動を約束されている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	入居者の日々の様子は便りで知らせたり、状態変化の際には即連絡をとるなど、確実に家族への報告がされている。毎月1度の協力医による診断も報告されている。外泊や身体機能の面においての要望には、随時可能な限り対応されており、積極的に入居者のご家族から意見をいただくような姿勢を持たれている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	入居者の自宅やお墓参りへ一緒に出かけたりするなど、入居者の友人・知人の方との関係性を切れないような工夫がされている。また地域住民の方には日頃のふれあいの中から交流する機会を得、ホームの一生懸命な姿を感じてもらい声を掛けられるなど、地域との親しい関係作りがされている。

2. 評価結果(詳細)

( 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型の運営理念として「生き生き 和やか みどりが丘」とされ、さらに地域に出かけていくことで、生き生きと和やかに過ごされる事を深める努力をされている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者をはじめ、全職員が理念の共有がされており、地域に出かける際には積極的に挨拶などの声かけをするなど、日々取り組まれている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	入居者の自宅やお墓参りへ、一緒に出かけたりするなど、入居者の友人・知人の方との関係性を切れないような工夫がされている。また地域住民の方には、日頃のふれあいの中から交流する機会を得、ホームの一生懸命な姿を感じてもらい、声を掛けられるなど、地域との親しい関係作りがされている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価結果に対して、改善計画シートを作成され、取り組まれている。外部評価が入る意義として、普段気づけないことに気づかされるなどの刺激になると感じられている。また自己評価は全職員で取り組まれており、全職員が個々に記入することで、課題と目標を見出され、現在取り組んでいる事の大切さと自身が取り組む姿勢に対して自信を持たれている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度のペースで運営推進会議が行われている。市町村担当者や職員、民生員や入居者の家族が参加され、意見交換がされている。運営推進会議の議題はホームの活動計画やOJT研修計画、会議の議題内容や助言など積極的に話し合いが行われている。議題を活かした内容としてはボランティアの活動の場としての提供の呼びかけがあり、地域の祭りなどでの活動を約束されている。		

グループホーム みどりが丘

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者とは運営推進会議以外にも他の会合や避難訓練の報告などを通して、こまめに連絡を取り合い、共に質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	入居者の日々の様子は便りで知らせたり、状態変化の際には即連絡をとるなど、確実に家族への報告がされている。毎月1度の協力医による診断も報告されている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	外泊や身体機能の面においての要望には、随時可能な限り対応をされている。積極的に入居者のご家族から意見をいただくような姿勢を持たれている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動がある場合でも地域の顔馴染みの方に職員として入ってもらうなど、ダメージが少ないように工夫されている。また入居者の負担にならないように職員になるときも時間を掛けて、さらに関係作りをされている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員を働きながら育てる計画を秀峯会がグループ全体に徹底されており、新人研修・感染症委員会・リスク委員会等、様々な資格を持てるように育てる工夫がされている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	五島市のグループホーム連絡協議会に入られ、管理者等の勉強会を通して交流する関係を築かれている。		

グループホーム みどりが丘

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>管理者が入居予定者の自宅に訪問したり、ご家族と一緒にホームの見学に来て頂き、介護計画者がご家族や本人と相談しながら、本人が徐々に馴染めるように工夫されている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は入居者から学ぶことの大切さを知っておられ、日々の関わり合いや、会話を通して支え合う関係を築かれている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者それぞれ個性があり、集団にすることが苦手な方にはお茶をもって部屋を巡り会話を楽しむなど、個々の生活歴を通して個性に合わせた接し方を検討している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>個別具体的な介護計画を作成するため、日々の記録や職員の気づきが書かれた申し送りノートを活用され、職員の意見等も含んだものを介護計画者がまとめて作成される。その都度、ご家族に確認と意見を尋ね、了解を得ている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の中でもっとも重要な計画を中心に進められている。また骨折等の状態変化がある時には随時計画を見直すようにされている。しかし基本的に6ヶ月に1度になっているため、必ずしも現状に即した介護計画とは言い難い。</p>		<p>すでに完了している計画やあまり効果が得られない計画等が見受けられたので、こまやかな日々の記録を基に、介護計画を作成され、現状に即したものを提供されることが望まれる。</p>

グループホーム みどりが丘

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者のご家族が安心して暮らせるように1階の病院での細やかな受診の連絡や宿泊の用意等、ホームのもつ機能を活かし、柔軟な支援がされている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	1階のみどりが丘クリニックや入居者やご家族が希望するかかりつけ医で適切な医療が受けられ、必要な時には紹介状をいただき、入居者の必要としている医療機関へ受診出来るようにされている。また薬手帳を利用して安全面も確保されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームに看取りの指針が用意されている。またご家族にも説明し、同意をいただいている。夜間等でも緊急時には看護職員のオンコールマニュアルなどで対応できるように工夫されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	全職員は個人情報保護の大切さを理解され、所定の場所に書類などは整理されて入居者の目にふれない工夫がされている。また入居者のプライドを傷つけないように優しく接するなどの対応がされている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	全職員は入居者の意思を把握し、いつも座る所定の場所へさり気ない誘導や見守りで支援されている。配膳なども個々のペースに合わせ、急かすことのないように注意されている。		

グループホーム みどりが丘

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は入居者同士楽しく、また自分のペースで食されている。食事介助の方がおられるが、本人の食べやすいリズムで支援されている。しかし職員も一緒に同じ食事を取ることはされていない。		職員も入居者と同じ食事をする事で、旬の材料や味付けの会話等によって、さらに楽しい食事風景になることが期待される。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は毎日楽しめるようにされている。長い期間、入浴を拒否される方には会話の内容などで楽しく入浴できることを感じてもらい、誘導するようにしている。入浴されない日は清拭などで清潔保持されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	草取りや花植え、裁縫等で一人ひとりの楽しみごとや生活歴を通して知り、その力を活かした支援がされている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日希望があれば買い物やドライブなどの外出支援をされ、また月に1度は全員でドライブに出かけている。またベランダを利用して日光浴やホーム付近の散歩に出かけるなど、ホームに閉じこもらないような支援がされている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠することがない。また入居者が一人で外出しようとする時は声かけや見守りなどで対応されている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	広域避難場所の確認や自然災害委員会を作られ、避難方法は身につけられている。火災通報装置も用意されている。だが災害後の対策や地域の協力体制が課題と自覚されている。		今後は避難する際に持ち出す必要がある書類や避難先でのライフラインの確保、地域のさらなる協力体制を築かれることに期待する。

グループホーム みどりが丘

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	時間を決めて水分補給を行ったり、栄養バランスに配慮した食事を提供されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	行事の写真や一人で過ごせるソファ等が用意されている。また花などで季節感を取り入れている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者個々の過ごしやすいように花や紙細工等の手芸品が飾られてあり、本人も落ち着いて過ごせる居室になっていた。		